



2025.3.1 No. 56

発行 2025年3月1日  
発行所 公益財団法人関西吟詩文化協会承認白鷺連合会  
発行責任者 大取 鷺 照  
編集責任者 塩 路 澄 誠

題字／西野楊郷

## 目 次 白さぎ 56 号

■ 卷 頭 言	会 長 〈大取 鷺照〉	2
■ 令和7年 白鷺新年互礼会 開催		2
■ 令和6年度 総会報告		3
	(実態調査結果等)	4
■ 展 望	副会長 〈石橋夕藻〉	5
■ 新任部長挨拶	事業企画部長 為貴 誠粹	7
	青年部長 藤山 澄玄	8
■ 第63回 白さぎ吟詠の集い競吟大会の結果		10
■ 関吟総本部主催全国競吟大会に於ける白鷺会員の結果		12
■ 第57回青年部大会 & 第6回交流会が開催されました		13
■ 公認岳豊会日高支部45周年・豊岡支部60周年の大会を開催		14
	第21回公認岳豊会吟詠の集い競吟大会開催される (白鷺HP版)	15
■ 公認浜松鷺長会創立60周年記念大会開催される		16
■ 【コラム】 こんな質問をしてみた。AIの回答や如何に!?		17
■ シリーズ 教室探訪コーナー		
	鷺舟会 玉出支部 広報部 〈福永洋恵〉	18
■ 史跡探訪の旅		
	頼 山陽の好きだった山紫水明処 広報部 〈天田澄慈〉	19
■ 女性部だより		
	「白鷺女性部吟行会 (京都日帰りの旅)」開催される	20
■ 白鷺連合会組織系統一覧		22
■ 仲よく楽しく健やかに、そして一語一縁吟の輪を広げていこう		
	協賛広告 本年もよろしく申し上げます	24
■ 行事予定		26
■ 編集後記		27
■ 白さぎ女性部大会・青年部大会のご案内☆		27
■ 「白さぎ吟行会IN広島」開催ご案内		28

## ご挨拶



白鷺連合会

会長 大取 鷺 照

『春めきて ものの果てなる 空の色』

飯田蛇笏

一雨ごとに暖くなってまいりましたが、白鷺の会員の皆様、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年は、地震や豪雨そして台風被害など自然災害の多い年でした。被災されました方々の一日も早い復興をお祈り申し上げます。そうした中でもパリ・オリンピックでの日本人選手の活躍、メジャーリーグでの大谷選手の活躍など、世界の舞台で活躍する姿に勇気と感動をもらいました。

さて、昨年お陰様で白鷺の事業は、競吟大会、総会、青年部大会&交流会、新年互例会と無事に実施することができました。役員、会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

今年は巳年です。蛇は脱皮することから「復

活と再生」を意味し新しいことが始まる一年だといわれています。コロナ禍からの「復活と再生」に向けて頑張っていきましょう。

今年は、広島で吟行会が開催されます。皆さんで参加して白鷺のきずなを深めていきましょう。ご支援ご協力よろしくお願いたします。また総本部では「会員増員キャンペーン」を令和8年3月まで実施しています。一語一縁まわりの人に声をかけて吟友を増やしていきましょう。

最後に、おやさぎ故伊豆丸鷺洲先生の遺訓「和と奉仕の精神」「感謝する心」を継承し、「仲よく楽しく健やかに、そして一語一縁吟の輪を広げていこう」というスローガンのもと前向きに前進していきましょう。今年もよろしくお願致します。

## 令和7年 白鷺連合会新年互礼会開催される☆

令和7年1月12日（日）は、白鷺連合会新年互礼会でした。昨年と同じく、ホテルプラザ大阪（十三）19階で開催されました。12時から同会場で常任理事会が執り行われ、続いて14時からの新年互礼会に白鷺の仲間が集まりました。セレモニー終えて、声高々に乾杯！ 暫し歓談の後、恒例のテーブルごとのカラオケ大会です。今年の巳年にちなんで、脱皮し新しい再生・変化の年にしたいという白鷺会員の思いが結集した楽しい互礼会でした



# 令和6年度「白鷺連合会総会」開催される☆

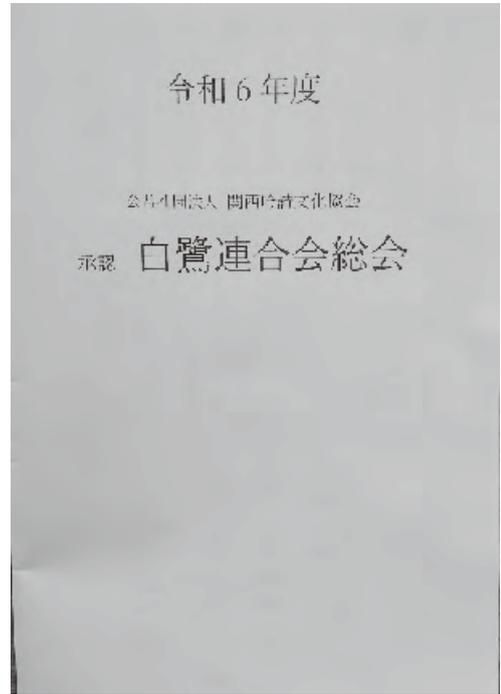
日時：令和6年5月4日（土）午後0時から常任理事会  
 同日 午後2時から白鷺理事総会  
 場所：海老江西コミュニティセンター

**【役員改選】（敬称略）**

<令和6年度・7年度担当>

相談役	岡田 岳遙（岳豊会）	新任
参与	小平 秋紅（成秋会）	新任
会長	大取 鷺照（鷺照吟詠会）	二期4年任期中
副会長	飯田 報鷺（浜松鷺長会）	再任
〃	岩間 鶴声（鷺郷吟詩会）	再任
〃	酒井 翔恵（鷺恵会）	再任
〃	中谷 淞苑（淞苑会）	再任
〃	古賀 戊孝（攝友会）	再任
副会長	森川 源伸（鷺伸吟詠会）	新任
副会長	田中 岳涼（岳豊会）	新任
副会長	石橋 夕藻（鷺夕会）	新任
総務局局长	岩間 鶴声（鷺郷吟詩会）	再任
総務局次長	森 璽声（鷺声吟詠会）	再任
総務部部长	谷澤 暁声（船場吟詠会）	再任
財務部部长	児玉 登春（春鷺声栄会）	再任
事業企画部長	爲貴 誠粹（青誠会）	新任
広報部部长	塩路 澄誠（澄声会）	再任

HP管理部長	塩路 澄誠（澄声会）	再任
会計監査	加藤 扇郊（鷺舟会）	再任
〃	佐川 駿声（鷺声吟詠会）	再任
女性部長	井上 容声（鷺声吟詠会）	再任
青年部長	藤山 澄玄（成秋会）	新任



※令和6年度の議案書からの抜粋です。

白鷺総会次第

令和5年度行事経過報告

※議案内容はこちらのQRコードをQRリーダーで読み取りして確認ください。

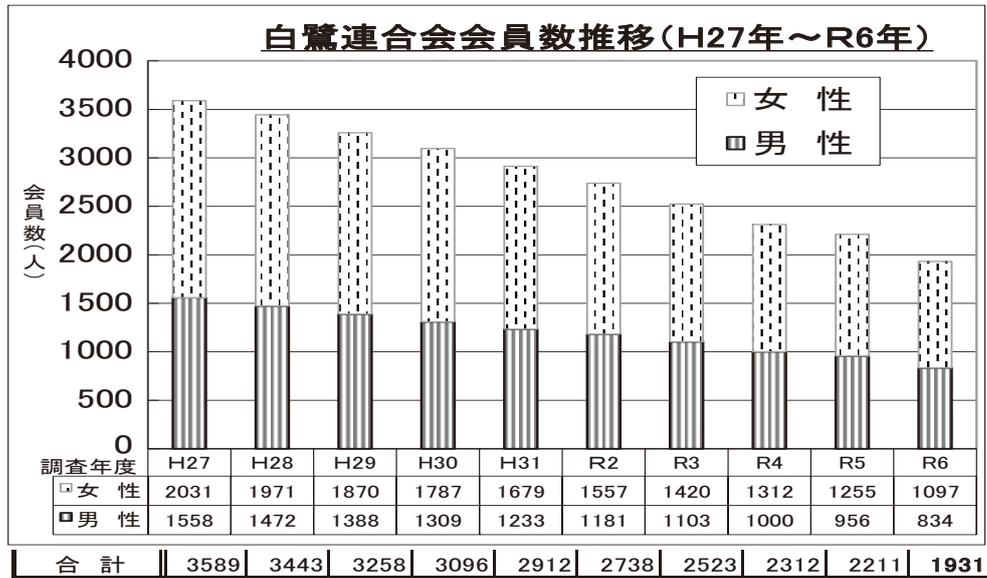



<物故者> 小井鶴伸師（令和6年2月）  
 山根鋒孝師（令和6年9月）  
 川畑璋鵬師（令和6年9月）

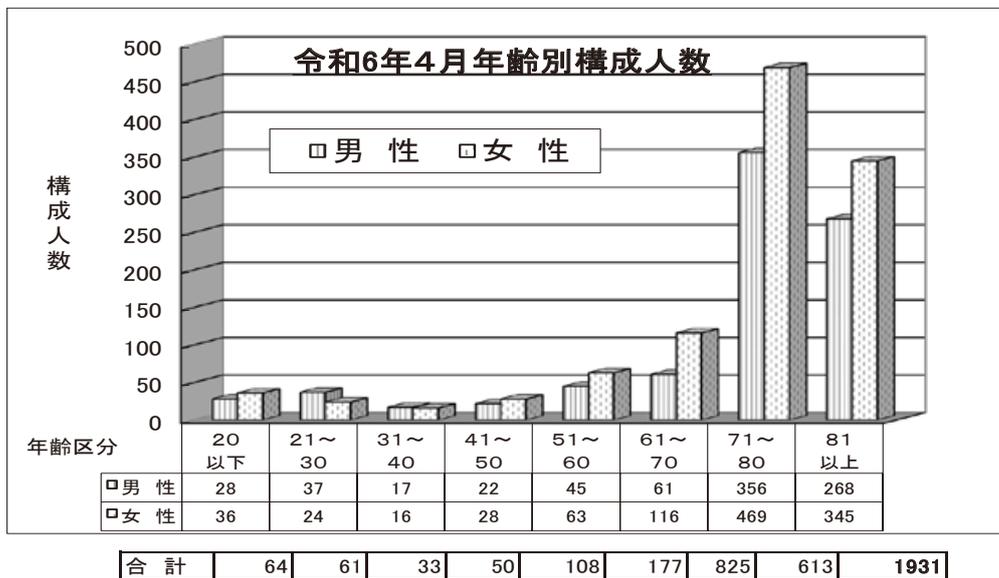
令和6年度に逝去されました白鷺会員物故者に対し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

合 掌

# 白鷺会員数推移



調査年度	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
男性	1558	1472	1388	1309	1233	1181	1103	1000	956	834
女性	2031	1971	1870	1787	1679	1557	1420	1312	1255	1097
合計	3589	3443	3258	3096	2912	2738	2523	2312	2211	1931



年齢区分	20以下	21～30	31～40	41～50	51～60	61～70	71～80	81以上	合計
男性	28	37	17	22	45	61	356	268	834
女性	36	24	16	28	63	116	469	345	1097
合計	64	61	33	50	108	177	825	613	1931

## 白さぎのこれから



白鷺連合会副会長

石橋 夕藻

(広島鷺夕会 会長)

令和七年がスタートして、7日目。店頭には、疲れた胃の回復のため、「七草かゆ」の薬草が並んでいます。年明けのんびりしておりましたら、広報のかたより原稿依頼のラインが入り、頭の中の緩んだネジが、まわりはじめました。急ぎ、年末に送っていただいていた行事案を開き今年も忙しくなる予感がいたします。

1月の理事会・新年会。今年は、白鷺吟行会を広島で開催予定なので、どうしても出席して、宣伝してこなくては。2月末までの締め切りに、何人くらいの参加がと、少し心配しています

年間行事の最大は、4月に開催の競吟大会と、2年ごとの吟行会。青年部の大会と女性部の大会となります。今年2月の競吟大会は、328名の出吟数になり、無事に開催することとなりました。会場は、1年前からの予約ですが、事務局の担当の先生は、前日の日づけの変わる夜中零時と同時にパソコンの操作をして、予約をとってくれました。前日準備もいれますと、二日に渡ってのご苦勞をしてくださっています。会場予約が最初の一步で、一年にわたって、10回の実行委員会を経て、開催の運びとなります。

吟詠人口の減少と並行して、競吟大会への出場者も減ってきており、10年前の出場者の半数となっています。300を切りますと、

開催することは難しくなってきます。

地方からの参加となりますと、結構な出費になりますが、名古屋、浜松、豊岡、日高、出石、岡山広島からの参加者が三分の一となっています。

今回が、64回という歴史のある大会ですので、これからも、鷺の仲間の研鑽を積む場所として、消えずの火のように、新しい焚き木や風を吹き込みながら、守ってきたいものです。

もう一つの大きな行事が、2年ごとに開催されてきた、「白さぎ吟行会」です。前回の浜松大会において、広島での開催を打診され、そろそろ広島かなと思っていましたので、お引き受けいたしました。

広島「鷺」の号を持っている会は、鷺夕会を入れて、六会あります。しかしながら、白鷺に加盟しているのは、鷺夕会のみとなっています。広島連合として、友好団体としての活動はしていますので、今回の広島吟行会に賛助してくださるよう声を掛けています。そして、再入会していただくチャンスととらえているのですが如何なものでしょうか。

なぜ退会したのか、何が足りないのか等々、話しをする機会があれば、今後の展望も見えてくるかもしれません。

「吟行会in広島」は、今回、宮島の島内にておこないます。島内の由緒ある旅館(錦水館)に宿泊していただきます。一日目の昼頃に到着されると、午後は、交歓吟詠会に時間がとられますので、観光にまで回ることにはできないかと思われます。観光は、翌日自由に散策していただきます。今回は、他の観光地には参りません。「宮島」をしっかり堪能してください。宮島観光チラシを引用させていただきますと、六時間周期の干潮で潮が引くと、大鳥居の下を歩いてみあげることができます。巖島神社、大聖院、弥山登山、宮島水族館と、数々の寺社、などなど、それぞれのペースでゆっくり巡っていただければと思います。日程を、7月と暑い時期にしていますので、無理はしないで、休みながらお楽しみください。

「鷺号」を持たれていた、諸先生方も、すでに遠く旅立たれています。鷺夕会で、「鷺」が残っているのは、会の名前にのみとなり、私たち孫鷺たちは、会主、曾根鷺夕先生の「夕」の号をいただいています。白鷺連合会が何なのか、ちゃんと次の世代に語り引き継いでいかないと何の団体かもわからなく

なるかも知れません。

伊豆丸鷺洲先生の思い出を、鷺夕会5周年記念誌に故曾根先生が、載せられていました。

以下抜粋

「暑さ寒さをこぼさない先生」曾根鷺夕  
「先生、暑いですね」

私は、ご老体をいたわるつもりであった。

「曾根ちゃん、暑い寒い、人間を鍛えるためにあるのや。暑い暑いと言うてはいかん」

講習が終わって帰る夜道、右手の茶色のカバンで調子をとるように、サッサッと大股で歩きながら…「吟によって、自分を磨くんやで。」と。

鷺の園に集う私たち、コサギ、孫鷺たちに思い出を語ってくれていました。

伊豆丸鷺洲先生の遺訓、和と奉仕の精神、感謝する心を次の世代に繋げたいと思います。



## 新任・白鷺事業企画部部長就任ご挨拶☆



白鷺連合会 事業企画部 部長 為貴 誠粹 (青誠会)

初めてこの命を受けたのは2年前に溯ります。心の準備に2年間掛かっており(笑)この度やっと新事業企画部部長を引き受ける事となりました。

私が関西吟詩文化協会の門を叩いたのは1977年昭和52年、桃山学院大学詩吟部でした。故高見鷺播先生に師事致しました。それまで高校時代はバンド活動をし私はボーカル担当だったのでそれなりに声に自信を持っていたのですが初めて高見先生の声聴いた時、衝撃を受けて詩吟で凄いな！一度詩吟をやってみようと習い出したのがキッカケです。

エピソードトークですが詩吟部主将時代3回生の夏合宿時、高見先生から合宿所の風呂場に呼ばれました。其処に高見先生が入浴中で入ってこいという事で私は高見先生と2人風呂場で高見先生のお背中を流していました。その折、高見先生から卒業して社会人になっても頑張っで詩吟を続けなさい！そうすれば少なくとも僕くらいには成れるから、と言ってくださいました。

しかし、そのご指示に背き15年間程詩吟を辞めてしまっていました。なので私は会員番号73964番ですが未だ蒼いバッジを付けております^\_^

それはさておき、この度の事業企画部部長就任に際しては様々な障壁が私には有り、これはどう考えても背丈が足りてないなと今もプレッシャーを感じる日々です♪

白鷺連合会に於いては元々師である加納誠旺先生から青年部に人が足りてないと青年部に送

り込まれたのが活動するキッカケです♪

加納誠旺先生は2000年の我が青誠会発足時からの師匠ですが、桃山学院大学詩吟部の初期OBでもあり既にもう47年のお付き合いを頂いており未だ日々ご指導仰いでおります。加納先生はじめ青誠会の仲間が後押ししてくれたからこそ青年部長も2期半5年間続けられましたし、この度の事業企画部部長就任にも後押しとなっております。

さて事業企画部に関してですが、先ず事業企画とは何ぞやという事から考えてみました。事業とは主に企業や組織等の営利活動、若しくは世に役立つ大きな仕事、と有ります。企画とは何かを成す為の計画を立てる事とあります。事業企画とは事業の目標を作成しその実行をサポートする事です♪

即ち私達事業企画部は常に白鷺連合会1,931名の皆さんが喜んでくださる事業の縁の下の力持ちにならないといけない！

そんな想いを常に保ちながら今後の白鷺連合会に寄与していく所存ですので何卒皆様のご理解とご協力を頂き暖かい眼でこの拙い新事業企画部長を見守って頂きたいと思ひます。

どうか宜しくお願い申し上げます。

以上

## 新任・白鷺青年部部長挨拶☆



白鷺青年部 部長 藤山 澄玄 (成秋会)

このたび白鷺連合会青年部の部長に就任しました、成秋会の藤山澄玄です。

師の米田秋澄先生の教室の門を叩いたのが6年半ほど前でした。当時、白鷺青年部では第50回大会の舞台づくりが着々と進められていました。米田先生から「群舞に参加してくれへん？」とお声がけいただき、右も左もわからないままに玉川コミュニティセンターへ伺った私を、青年部のみなさまやOB・OGの先生方がとても優しくお迎えくださったことを思い出すと、今でも心があたたかくなります。

白さぎ青年部第50回記念大会は盛大で、構成吟の舞台では、ご年齢を問わずみなさま輝いておられ、憧れの気持ちを抱くとともに、みんなで創り上げることの素晴らしさに学校制度の外で初めて触れた機会でした。以降は役員会にも出席しており、当初は仕事にも一人暮らしにもそれほど慣れない頃で、白鷺青年部にも総本部青年部にも同時に関わり続けることに戸惑いもありましたが、教室だけの世界でなく、歳の近い人を含め、いろいろな人と詩吟を介して出会うことができ、青年部に楽しんで参加する中で、やりたいと思えることが出てきて、詩吟そのものについて考えるきっかけを得たりしました。

また、私生活で挫折を感じ、居住を転々とした時も、白鷺青年部を心の拠り所と感ぜずい

ぶんと救われました。実際には、会議に出席できない時期もあり、ご迷惑をおかけした中、6年間白鷺青年部を守り続けてくださった中岡蒼狼声部長に対しては、言い尽くせない感謝と尊敬の念があると同時に、あまりに多くのご負担をおかけしてきた負い目を感じております（それは、私が東京や丹波に漂泊していた時期に総本部青年部を担ってくださった安田行軌部長に対しても同様です）。みんながみんなのために、それは白鷺青年部の美德ではありますが、できるだけ、義理のためではなく自分のために来てもらえる場所を作りたい、それが私の悲願です。まずは来て良かったと思える会議をつくり、集ってくれる人たちが心からやりたいと思えることを活動にしていく道筋を、まだ漠然とですが思い描いています。

新卒の頃に詩吟を始め、そんなこんなで今年は30歳になります。「いま青年部長に就任したら、まだまだ先、長くやらないとじゃない？」ということをごらほら聞きましたが、むしろ長く続けば御の字だと思っています。それは、いま青年部に不可欠な50代のメンバーたちが、そのうち卒業という年齢になる時期は見えているからです。そもそも年齢にかかわらず、吟界において青年部よりももっと大きな枠で活躍している／すべき方々を、青年部に引き留めている

という実情もあると認識しています。そして、ただこれまでと同じことを続けていけば、青年部の存続そのものが危うくなるという感覚があります。

「青年部」といえる世代が少ないのに無理をして、白鷺連合会の単位で青年部を維持しなくても良いのでは？ という疑問も一理あるかもしれませんが、自問もしてみても、私は白鷺青年部の伝統といった観点から答えることは未だできませんが、それでも白鷺青年部の灯を継いでいきたいという自身の気持ちの大きさに気づきました。

正直なところ私は詩吟がすごく上手になりたいとか、コンクールで入賞したいとかいった情熱がありません。それでも詩吟を楽しく続けているのは、師の米田先生のお人柄を慕うからでもあり、また青年部の仲間と顔を合わせる場があり、一緒につくる舞台があるからです。万人にとってそうではないと思います。でも私にとっては大切なつながりで居場所であり、まだ参加していない誰かにとってもそうなり得ると信じています。

それぞれのメンバーが参加する度合いは様々だと理解しています。先日の総会の際、白鷺連

合会の上の先生方がいかに諸役員や会員の方々をよくご覧になり気遣っていらっしゃるかということにも感銘を受けましたが、やはり先生方ご自身がお忙しいからでもあるのだろうと感じました。多忙な中でも心を寄せ続けるのは何故なのでしょう。詩吟が、吟友が、大切だから、なのでしょう。他にもあるかもしれませんが、同じ思いを共有する人が増えれば、他の何かを犠牲にせずにそれらの大切なものを守っていくことがより容易くなるでしょう。

自分がそのように迎えていただいたように、多忙で多難な青中壮年世代だからこそ、「おかえり」「いらっしゃい」と扉を開けて誰かを待っているホームを絶やしたくないと思います。「若いね」と言われるのでしょうか。どうかお知恵とお力をお貸しいただきたくお願い申し上げます。

経験的な未熟さからしても能力的な不足からしても、青年部長としての務めに至らぬところが多々あろうことは必至ですが、いつものように精一杯努める所存です。どうぞよろしく願いいたします。

以上



## 第63回 白さぎ吟詠の集い競吟大会の結果

令和6年4月6日（土）久々の上記大会が開催されました。

今年の会場は尼崎エーリック。一年ぶりに懐かしい顔ぶれが集まり、元気をいただきました。日頃の精進の成果を発表するとともに、会員相互の交流を深めた一日となりました。

各部の成績は次の通りです。（以下敬称略）

### 最上級の部（7段以上）

優勝：内座由紀葉（鷺照吟詠会）  
準優勝：伊藤 利博（鷺伸吟詠会）  
第3位：空 富美子（鷺照吟詠会）  
第4位：小林 悠貴（攝友会）  
第5位：坂本 住子（志舟会）  
第6位：佐田 保朋（攝友会）

### 上級の部（4段～6段）

優勝：山田恵美子（春鷺声栄会）  
準優勝：川根 幾恵（鷺照吟詠会）  
第3位：石飛 雄三（広島鷺夕会）

### 中級の部（3段）

優勝：増田 直樹（岳豊会豊岡）  
準優勝：山中 寿子（鷺声吟詠会）  
第3位：近藤ぬい子（鷺伸吟詠会）

### 初級の部（初段～2段）

優勝：奥村美智子（淞苑会）  
準優勝：川相 均（鷺迪吟詠会）  
第3位：上田 忠司（船場吟詠会）

### 新人の部（無段）

優勝：松本 映子（岳豊会日高）  
準優勝：新谷 益代（鷺照吟詠会）  
第3位：笠原久米子（淞苑会）

### 壮年①の部（満70歳以上の3段まで）

優勝：小田 和子（鷺迪吟詠会）  
準優勝：嘉久 雄才（鷺郷吟詩会）  
第3位：高岡 公子（春鷺声栄会）

### 壮年②の部（満70歳以上の4段～6段まで）

優勝：関 政子（鷺恵会）  
準優勝：七理 政一（鷺声吟詠会）  
第3位：松本 由清（天理吟詠会）

### 壮年③の部（満70歳以上の7段以上）

優勝：川嶋 嘉代（鷺迪吟詠会）  
準優勝：山川百合子（鷺迪吟詠会）  
第3位：上尾谷布子（淞苑会）

### 傘寿①の部（満80歳以上の師範代未満）

優勝：齊藤 二生（春鷺声栄会）  
準優勝：西出 盛藏（鷺恵会）  
第3位：西田 義弘（鷺迪吟詠会）

### 傘寿②の部（満80歳以上の師範代以上）

優勝：田房 喜朋（澄声会）  
準優勝：野島 節子（鷺声吟詠会）  
第3位：中尾ヨシノ（攝友会）

### 和歌の部

優勝：森 佳奈子（攝友会）  
準優勝：山田恵美子（春鷺声栄会）  
第3位：天田富美子（澄声会）

### 合吟の部

優勝：田中 好子他（鷺照吟詠会）  
準優勝：田中美恵子他（岳豊会日高）

### 年少の部

奨励賞：笠井 航輔（攝友会）

※以下、各部ごとの入賞者をお知らせします☆

#### 【新人の部 入賞者】

田渕三枝子（青誠会）  
角谷 晃弘（鷺声吟詠会）  
立木 南（鷺照吟詠会）

#### 【初級の部 入賞者】

中島恵梨子（岳豊会日高）  
中島 邦子（青誠会）  
中塚 聖子（鷺恵会）

#### 【中級の部 入賞者】

該当者なし

**【上級の部 入賞者】**

川崎 重雄 (岳豊会日高)  
太田 士郎 (浜松鷺長会)  
坂田真奈美 (船場吟詠会)  
稲垣 芳雄 (岳豊会豊岡)  
中尾 恵 (鷺照吟詠会)  
真下 幸信 (攝友会)  
田路 唯司 (青誠会)  
植田三代子 (鷺恵会)  
西澤 格 (鷺迪吟詠会)

**【最上級の部 (一) 入賞者】**

和田 彩香 (攝友会) 次点  
為貴 健司 (青誠会)  
伊藤 繁子 (攝友会)  
菊川 節子 (淞苑会)

**【最上級の部 (二) 入賞者】**

平岡 讓 (攝友会) 次点  
剣持 和江 (鷺照吟詠会)  
山本眞佐男 (広島鷺夕会)  
上中いつみ (春鷺声栄会)  
坂下 公枝 (浜松鷺長会)

**【和歌の部 入賞者】**

中山 理恵 (鷺照吟詠会)  
新谷 益代 (鷺照吟詠会)  
中尾 恵 (鷺照吟詠会)  
菊川 節子 (淞苑会)

**【壮年の部① 入賞者】**

該当者なし

**【壮年の部② 入賞者】**

建部 勲 (鷺声吟詠会)  
都川 和子 (鷺恵会)  
小栗 時江 (鷺声吟詠会)  
中野眞由美 (淞苑会)  
澤井 勝雄 (攝友会)  
田中 早苗 (岳豊会豊岡)

**【壮年の部③ 入賞者】**

細井 良子 (鷺伸大阪伸友)  
菊池 洋子 (鷺伸吟詠会)  
中野 清子 (攝友会)  
山口 當子 (攝友会)  
川崎 晴美 (岳豊会日高)  
片岡七三江 (岳豊会豊岡)

**【傘寿①の部 入賞者】**

該当なし

**【傘寿②の部 入賞者】**

該当なし

.....

※第63回白さぎ吟詠の集い競吟大会の結果と画像は下のQRコードをQRコードリーダーで読み取りジャンプしてご覧ください。



“この大会に早朝より準備、お世話を頂きました大会委員の先生方に厚く御礼申し上げます”

# 令和6年度関西吟詩総本部主催 全国競吟大会における白鷺会員の成績結果

## ◆全国新人中間層競吟大会結果☆

日時：令和6年11月10日(日) 9時30分開会

場所：大東市立市民会館 (キラリエホール)

以下敬称略

### 【中間層シニアの部】80歳以上

準優勝：真木 史代 (澄声会)

### 【和歌の部】

優勝：増田 直樹 (岳豊会)

4位：新谷 益代 (鷺照吟詠会)

5位：上江 勝志 (鷺照吟詠会)

入賞：佐野川谷成子 (淞苑会)

### 【新人の部】

優勝：太田 尚志 (攝友会)

6位：竹内 春美 (鷺声吟詠会)

入賞：井原留美子 (淞苑会)

児玉 紀雄 (淞苑会)

吉村 恵子 (広島鷺夕会)

浜田 敏夫 (鷺伸吟詠会)

三宅 妙子 (岳豊会)

原田 光子 (春鷺声栄会)

### 【初級の部】

準優勝：松本 英子 (岳豊会)

準々優勝：川相 均 (鷺迪吟詠会)

6位：新谷 益代 (鷺照吟詠会)

入賞：奥村美智子 (淞苑会)

中塚 聖子 (鷺恵会)

黒坂千代美 (岳豊会)

### 【上級の部】

準優勝：増田 直樹 (岳豊会)

準々優勝：土田 克美 (広島鷺夕会)

5位：松木 春香 (鷺迪吟詠会)

7位：山中 寿子 (鷺声吟詠会)

8位：荒木 和枝 (鷺伸吟詠会)

入賞：中尾 恵 (鷺照吟詠会)

辻村 逸江 (鷺迪吟詠会)

奥田 尚子 (成秋会)

鈴木 博 (船場吟詠会)

近藤ぬい子 (鷺伸吟詠会)

## ◆全国指導者級吟士権者決定吟詩大会結果報告☆

日時：令和6年12月8日(日) 9時30分開会

場所：高槻城公園芸術文化劇場 北館

中ホール・展示室・レセプションホール

### 【師範以上(吟士権)の部】

6位：中山 理恵 (鷺照吟詠会)

8位：井垣 義昭 (岳豊会)

10位：尾崎 安彦 (鷺恵会)

入賞：(プロ順)

伊藤 利博 (鷺伸吟詠会)

内座由紀葉 (鷺照吟詠会)

石橋 英子 (広島鷺夕会)

上田 典子 (青誠会)

若林 美和 (広島鷺夕会)

山本 忠昭 (広島夕朋会)

佐藤 一弘 (広島鷺夕会)

菅原 祥之 (船場吟詠会)

坂本 朋義 (鷺照吟詠会)

### 【準師範の部】

入賞：(プロ順)

加藤 理恵 (広島鷺夕会)

### 【師範代の部】

優勝：山田恵美子 (春鷺声栄会)

6位：松尾 昌昭 (青誠会)

入賞：(プロ順)

佐藤 昌子 (鷺照吟詠会)

川崎 重雄 (岳豊会)

南 博 (攝友会)

### 【和歌の部】

4位：山田恵美子 (春鷺声栄会)

6位：佐川 俊一 (鷺声吟詠会)

入賞：(プロ順)

天田富美子 (澄声会)

佐藤 昌子 (鷺照吟詠会)

森 佳奈子 (攝友会)

米田 眞澄 (成秋会)

安達 董 (鷺伸吟詠会)

山本 忠昭 (広島夕朋会)

尾崎 安彦 (鷺恵会)

藤原 博世 (鷺声吟詠会)

菊川 節子 (淞苑会)

### 【指導者級シニアの部】(80歳以上)

準々優勝：田房 喜朋 (澄声会)

入賞：(プロ順)

谷本 泰弘 (澄声会)

中尾ヨシノ (攝友会)

小島 春江 (広島鷺夕会)

棚田 公夫 (鷺照吟詠会)



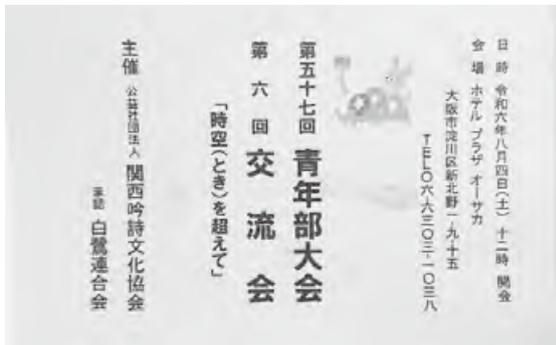
2024 関西吟詩全国  
新人中間層大会



2024 関西吟詩全国  
指導者級大会

# 第57回 青年部大会&第6回交流会が開催されました☆

大変な暑さ、そしてコロナが猛威を振るう中、令和6年8月4日、第57回青年部大会&第6回交流会が、ホテルプラザオーサカの雅の間にて盛大に開かれました。



青年部大会と交流会を併せて開催するという初の試みには、近年、青年部大会も白鷺の諸行事も、以前に比べると人を集めることが難しく、参加費で諸経費を賄うことも容易ではないという事情もあってのことで、実際どのくらいご参加くださるのだろうかと当初は案じておりました。

しかし、古賀成孝副会長のご尽力もあり、122名のお申し込みと、113名の当日ご出席を頂き、まさしく老若男女が集い、盛会となりました。ありがたいことには広島、岡山、浜松、東京からも遠路お運びいただきました。<中略>



白鷺青年部・部長 藤山 澄玄



QR コードで  
画像満載の HP へ



## 公認岳豊会豊岡支部60周年・日高支部45周年の記念大会が それぞれに開催されました☆



令和6年11月17日（日）午前11時から、兵庫県豊岡市の「とよおかコミュニティセンター」3階集会室で、「公認岳豊会豊岡支部創立60周年記念吟詩錬成大会」を開催しました。

この記念大会には、公認岳豊会の松尾岳豊先生、日高支部から岡田岳遙先生（日高支部相談役）、井本岳湖先生（日高支部長）、藤本岳縁先生（日高支部女性部長）、出石但東支部から森岳鷺先生（出石但東支部長）、上田岳姫先生（出石但東支部副支部長）以上5人の先生方をご来賓としてお迎えし、第1部では会員吟詠・講師吟詠・来賓吟詠、各種表彰の伝達等を行い盛会の内に無事閉幕となりました。

第2部の祝賀会では、豊岡支部の創立60周年を記念する、順位を競うカラオケ大会を盛大に行いました。カラオケ大会には、各分会から選抜された18人が出演し、審査には松尾岳豊会長、岸豊岡支部長をはじめ6人のご来賓の先生、豊岡支部の津田指導部長があたられ、厳正に審査の結果、公認岳豊会会長賞は、戸南分会の越江明美さん、豊岡支部長賞には、こうのとり分会の青田英次郎さん、日高支部長賞には、指導部

の松本和嘉江さん、出石但東支部長賞には、指導部の宇都宮一柁さん、豊岡指導部長賞には、こうのとり分会の田中早苗さんが選ばれました。初めてのカラオケ大会でしたが、大いに盛り上がり楽しいひと時を過ごすことができました。



QRコードにスキャンをかけて白鷺ホームページにジャンプしてください。